ドラマPBGDとMIU404の、おもしろいですね。

元祖 モリモリ書店

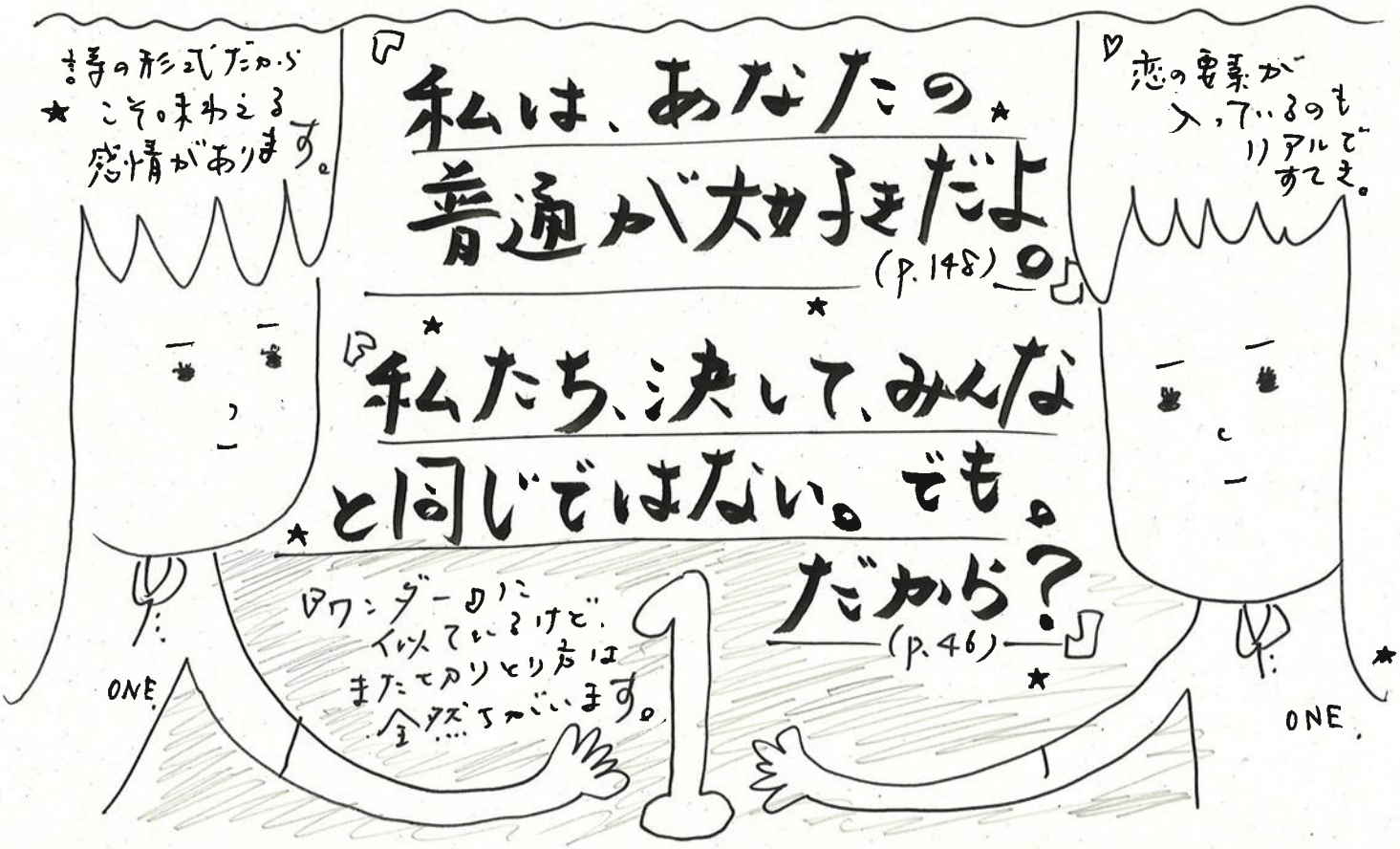
令和２年度　愛知教育大学附属岡崎中学校　読書だより

第25話　R02.07.07(火)
『「わたし」は「わたし」でいて「わたし」ではない。』

★今回、紹介する本は、『**わたしの全てのわたしたち**』（著/**サラ・クロッサン**、訳/**最果タヒ**、**金原瑞人**、出版/ハーパーコリンズ・ジャパン）です。

とても読みやすい。祖父江さんの関わる装丁はやっぱりすてき。

今回は、**海外の青春小説**を紹介。しかも、文章は、**全て詩の形式で語られている**ため、不思議な味わいのある小説です（詩人の最果タヒさんが訳に関わっていて、それもすてきです…ちなみに、最果さんの最近の絵本もグッド！）。

主人公は、１６歳の女の子の「グレース」と「ティッピ」。二人は、双子ですが、**腰から下がひとつにつながった「結合双生児」**。顔や胴体はそれぞれにあるけれど、腰から一つは下しかない。

生きていることだけで奇跡なこの二人が、高校に通い始めるところから物語は始まります。グレースの思いが詩として語られていくため、**とても繊細な少女の気持ち**が伝わってきます。ただのきれいごとにおさめずに、二人の少女を描きながら、**「自分」という存在は何か**考えさせてくれます。瑞々しくて切ない１冊です。ぜひ。